



倶利伽羅合戦図屏風（倶利伽羅神社蔵） ※津幡町指定文化財

『倶利伽羅源平合戦』

石川県と富山県にまたがる倶利伽羅峠は、源氏と平家が覇権をかけて戦った場所です。

「源平盛衰記」によると、1183(寿永2)年5月11日、平家軍の総大将、平維盛は、倶利伽羅山中の猿ヶ馬場に本陣を敷いて、木曾義仲率いる源氏軍を待ちかまえていました。一方、義仲は、埴生八幡宮で戦勝祈願を行った後、平家の動きに合わせて味方の軍を六手に分けて配置させ、夜が更けるのを待っていました。

夜半、ほら貝や太鼓の音が響き渡り、北側の黒谷の方角から、角にたいまつを付けた五百頭もの牛と、それに呼応した六手の軍勢が、一斉に平家の陣に襲いかかりました。義仲が奇襲戦法「火牛の計」を図ったのです。昼間の進軍で疲れきっていた平家軍は、奇襲を受けて大混乱し、何もできずに追い詰められ、人馬もろとも地獄谷に落ちていきました。こうして義仲は大勝利を収め、この勢いのまま、京へと進みました。

NHK大河ドラマ「義仲と巴」誘致推進に関する津幡町の取り組み



源平合戦ゆかりの地看板の設置



町営バスのキャラクターラッピング



NHKへの要望活動



源平合戦を題材とした劇の披露（よしもとふるさと劇団）



小中学生絵画コンクールの実施

大河ドラマ誘致推進キャラクター



よしなかくん

ともえちゃん

火牛のカーくん

火牛のモーちゃん



大河ドラマ誘致推進シンポジウムの開催



歴史家による講演会の開催



各種イベントでの誘致活動PR



道の駅 倶利伽羅源平の郷に地元ゆかりの武将などを紹介する案内看板の設置



大河ドラマ誘致推進曲等の披露



大河ドラマ誘致推進グッズの作成



キャラクターポロシャツ

【お問い合わせ先】

津幡町大河ドラマ誘致推進協議会（津幡町産業振興課内）

〒929-0393 石川県河北郡津幡町字加賀爪二3番地

TEL.076-288-6704 FAX.076-288-6470

http://www.town.tsubata.lg.jp/division/sangyou/drama_yuuchi.html



津幡町

検索